

第39回食とみどり、水を守る全国集会

開催案内

集会スローガン

～ 生命のふるさと「琵琶湖」から～
守ろう環境、築こう安心、人と自然の共生を！

日時 12月7日(金)午後2時～8日(土)午後2時半まで
場所 滋賀県大津市「琵琶湖グランドホテル」全体集会・分散会・分科会・総括集会・宿泊
(滋賀県大津市雄琴6-5-1 TEL 077-579-2111)
交通 JR湖西線雄琴駅より車で5分、徒歩15分
主催 第39回食とみどり、水を守る全国集会実行委員会
第39回食とみどり、水を守る全国集会近畿実行委員会

日程

第一日目

《全体集会》(午後2時～3時) 会場＝ホテル内「コンベンションホール」

- ①あいさつ(主催者・近畿実行委員会・連帯・来賓あいさつ)
- ②基調報告
- ③運動功労者表彰

《分散会》(午後3時半～5時半) 会場＝ホテル内会議室

分科会での討議に向けて、各課題の情勢と問題点の提起と質疑

第1分散会 「食の安全について」

(食の安全に関わるこれまでの行政の動きと問題点、消費者・市民運動の動きなど)

講師——神山 美智子さん(食の安全・監視市民委員会代表 弁護士)

1940年群馬県生まれ。中央大学法学部卒。1965年より弁護士登録(東京弁護士会所属)。東京弁護士会公害・環境特別委員会委員、日本弁護士連合会公害対策・環境保全委員会委員、ダイオキシン・環境ホルモン対策国民会議副代表、都立短期大学講師(食品の安全と法律)。主な著書に『食品安全へのプロポーズ・For Food Safety Law』(日本評論社)、『ガットの落とし穴』(共著、家の光協会)、『脱・農薬社会のすすめ』(日本弁護士連合会公害対策・環境保全委員会編 日本評論社)、『神山美智子フリートーク 食品添加物の安全基準が揺れている』(コープ出版)、『このままだと「20年後の食物」はこうなる』(カタログハウス)など。

第2分散会 「食料・農業政策について」

(「農政改革」の動きと問題点、WTO・FTAなど農産物自由化の動きと問題点など)

講師——神山 安雄さん(農業ジャーナリスト)

1948年東京生まれ。上智大学経済学部卒、法政大学大学院社会科学研究所修士課程修了。全国農業会議所に入り、全国農業新聞編集部長、全国新規就農相談センター所長などを経て、2005年退社。現在、國學院大学経済学部・法政大学経済学部で兼任講師(農業経済論)を務めるとともに、フリーの農政ジャーナリスト・評論家として活動。主な著書に『日本農業——その構造変動』(共著)、『日本農業——21世紀への課題』(共著)(以上、農林統計協会)、『あなたにもできる農業起業のしくみ』(日本実業出版社)など。

第3分散会 「森林・環境問題について」

(環境政策と林業政策、林業・木材産業の地域的再生など)

講師——北尾 邦伸さん(京都学園大学教授)

1942年大阪府生まれ。京都大学農学部卒。京都大学助手、島根大学助教授および同教授を経て、2005年3月末に島根大学を定年退職。現在、京都学園大学学部設置準備室職員。専攻は、森林計画学、森林政策学。主な著書に、『森林環境と流域社会』(単著、雄山閣出版、1992年)、

『《森林社会学》宣言』(共著、有斐閣、1989年)、『森と人のアジア』(共著、昭和堂、1999年)など。

《ビデオ上映会》(午後5時半～6時半) 会場=ホテル内会議室
(食・環境問題等のビデオ上映。参加自由)

《全体交流・懇親会》(午後7時～) 会場=ホテル内

第二日目

《分科会》(午前9時～12時) 会場=ホテル内会議室(フィールドワーク別)

第1分科会

「課題別入門講座」(2つの講座の講演と質疑討論)

①深刻化する地球温暖化と市民の取り組み

講師 田浦 健朗さん(気候ネットワーク事務局長)

②バイオ燃料ブームを問うー本当に環境対策になるのかー

講師 天笠 啓祐さん(市民バイオテクノロジー情報室代表)

第2分科会

「食の安全をめぐる」

(食の安全行政、有機農業、地産地消、食・農教育、学校給食、農業体験学習の推進など)

第3分科会

「食料・農業政策をめぐる」

(農政改革と農業・農村、WTO・FTAなどの農産物自由化の動きと今後の運動課題など)

第4分科会

「森林・水を中心とした環境問題をめぐって」

(水循環、水基本法の制定、森林と水との関係、森林整備と多面的活用、地域の課題など)

第5分科会

「各地の運動交流と今後の課題をめぐるー各都道府県の運動組織担当者を中心に」

(食料・環境、農林業・農山村問題等の各地域の活動経験の交流と今後の運動課題など)

第6分科会

「フィールドワーク 琵琶湖の環境学習」

(琵琶湖博物館・水生植物公園みずの森の施設見学と学習会など)

*フィールドワークは申込み先着順100名までとします。

(昼食休憩)

《総括集会》(午後1時～2時半) 会場=ホテル内「コンベンションホール」

①特別報告 「農業と農村の将来 見えてますか？」

報告者=榎田 劭さん(NPO法人使い捨て時代を考える会前理事長、元京都精華大学教授)

1935年京都市生まれ。京都大学理学部化学科卒業。同大学院を経て、京都大学工学部助教授(金属物理学)。1979年より、京都精華大学教員(環境社会学)。1973年に「使い捨て時代を考える会」を設立、理事長。様々な実践活動を通して、「現代」を考え、未来の可能性を模索している。主な著書に『共生の時代』『破滅にいたる工業的暮らし』『未来につなぐ農的暮らし』『未来へ生きる食を求めて』『脱原発・共生への道』『共生共貧・21世紀を生きる道』(以上、樹心社)、『工業社会の崩壊』(四季書房)、『農の再生・人の再生』(人文書院)、『歩く速度で暮らす』(太郎次郎社)、『地球を壊さない生き方の本』(岩波書店)、『共感する環境学』(共編・ミネルヴァ書房)など

②集会のまとめ

③集会アピール・決議採択

④閉会